Loop Japan 合同会社

プラスチック資源循環に向けた革新的技術・ビジネス推進プロジェクト

実施報告書 - 公開版

2023 年 4 月 1 日

1. 内容

1. 本事業の実施について 2
1. 事業名 2
2. 目的・位置付け 2
3. 本事業の取組の内容 2
2. 小規模パイロット実証実験内容 3
1. Loop Professional テスト商品 3
2. スケール 4
3. プラットフォーム運用 4
4. 評価 6
5. 考察 9
3. Loop Professional の取組みの拡大に向け 10
1. アスクルとの取り組み 12
2. （参考）オンラインサーベイ内容 13

1. 本事業の実施について

1. 事業名
   リユース容器を使用した業務用商品販売ビジネスモデル（Loop Professional）小規模パイロットテスト

2. 目的・位置付け
   Loop は日用品などの容器を繰り返し使える素材で作ることで、使い終わった空き容器を捨てるのではなく、洗浄、再充填してリユースするプラットフォームを提供している。本事業は使い捨て容器から繰り返し使用可能な容器(リユース容器)に切り替え、ゴミを排出しない資源循環型プラットフォームの展開を目的としており、ホテル、レストラン、カフェ、オフィスビルなどへ 2021 年 11 月より Phase 1 として実施した聞き取り調査の内容を踏まえた小規模の実証実験を行った。実証実験では既存のプラスチック容器を使用し、Loop Professional の仕組みがメーカー・ユーザー側双方において問題なく運用されるかを確認し、また課題点の洗い出しを行う。約 6 ヶ月間の実証の後、本格的な社会実装に向けたシステムの改善、参画企業の募集等の準備を進める予定（Phase 3）。

3. 本事業の取組の内容（Phase 2: Loop Professional 小規模パイロット実証実験）

- 期間
  - 2022 年 12 月～2023 年 2 月(約 3 ヶ月)
- 評価方法
  - 参加企業に対してオンラインサーベイおよびヒアリング会を実施し Loop Professional についての意見を収集
- 参加企業
  - 業務用商品提供企業
    - シーバイエス株式会社
  - 実施場所提供企業（ユーザー）
    - 株式会社ロッテ
    - 東急不動産株式会社
  - 洗浄施設パートナー
    - 鈴与エコプロダクツ株式会社
  - 継続中の取り組み　※詳細は Appendix 参照
    - （B2B 向け小売：通信販売）アスクル株式会社

2.　小規模パイロット実証実験内容

リユース容器使用特有の使用済み容器の回収について、ユーザー・メーカー間でのリユース容器の流れおよびその流れに合わせたデポジットを実際に運用することで、それぞれの利点や改善点の洗い出しをすることを主な目的に今回の小規模パイロット実証実験を実施。

1.　Loop Professional テスト商品

- 容器
  - ➢ 新規容器開発は実施せず、リユース可能な耐久性のある 10L 既存容器を使用
    - UN 規格ボトル
      - ボトル：PE、キャップ：PE、ラベルシール：PP

      ※UN 規格：国際的な危険物輸送が可能であることを証明する規格。落下試験や気密試験などの基準に適合しているため、多少の衝撃では破裂しない強固さや耐久性を備えている
    - PE ボトル
      - ボトル：PE、キャップ：PE、ラベルシール：PP
- 詳細

商品名	容量	容器
LJ アルコール除菌剤 75（テスト品）	10L	UN 規格
LJ サニッシュ 60（テスト品）	10L	PE
LJ ハンドソーププラス（希釈タイプ）（テスト品）	10L	PE

※すべて CxS 社製品

【商品イメージ】

製品ラベルイメージ
（LoopProと識別できるよう、ロゴ入り）

2.　スケール

- 納品量

納品先	納品商品	数量 （本/回）
ロッテ本社ビル	LJ アルコール除菌剤 75（テスト品）	2
東急不動産 日比谷パークフロント	LJ サニッシュ 60 10L（テスト品）	1
	LJ ハンドソーププラス（希釈タイプ）（テスト品）	1

- 納品および回収のサイクル

  実証実験期間中に容器を回収、洗浄、充填を実施するため洗浄ロット等は実運用の際のスケールとは関係なく運用。

納品回数	使用容器	回収
1 回目	新規容器	ー
2 回目	新規容器	1 回目の使用済み容器回収
3 回目	洗浄した容器	2 回目使用済み容器回収

3.　プラットフォーム運用

今回の実証実験では、メーカーが直接ユーザーへ納品を行う直接取引モデルにて行った。納品物流等も小規模なため、納品および回収については、CxS 社の営業車で実施。納品日程等も Loop にて個別に調整し設定。回収後の空容器は、洗浄施設へ直接宅配便で送付。

- デポジットの流れ

  【容器循環】メーカー　→　ユーザー　→　Loop　→　メーカー（以降循環）

  製品販売時にデポジットを付帯し、使用済み容器の返却が確認できた時点で Loop よりユーザーへ返金する仕組み。

- 実際の納品
  - ロッテ本社
    - 各使用場所への充填作業時には、2L の小型容器に入れ替えて作業を実施
    - 10L ボトルに充填用コックを付属することで、使いやすさも向上

➢ 東急不動産　日比谷パークフロント

- 棚に収納することで、コックを最大限活用。ボトルを動かすことなく充填が可能。

- 洗浄について
- 大型容器洗浄施設

業務用の大型容器を洗浄するパートナーとして鈴与エコプロダクツと業務委託締結をしている。ポリ容器をメインに長年にわたり洗浄をしてきた実績があり、Loop Professional の活動に賛同を得ている。今後、小型容器の洗浄やスケールが大きくなった際の協力体制など引き続き検討していく。

容器によって使用する洗浄ラインが異なるが、基本的な洗浄の流れは下記。

- 洗浄の流れ
  - 入庫・選別
  - ラベル剥離
  - 残液処理・容器内部洗浄
  - 浸漬・高圧洗浄
  - すすぎ
  - 乾燥
  - 仕上げ検査
  - 梱包・出荷

【洗浄施設写真】

・自動洗浄ライン（新設）左から洗浄=>乾燥

・検品室への導線　　・リーク試験機（ワレがないかの検査）

4.　評価

実証実験に参加したユーザー２社およびメーカーに Loop Professional のコンセプト、商品購入～回収等全体の利便性やリユース容器などに対する意見を聞いた。（オンラインサーベイおよびヒアリング会）

【サーベイ回答内容（n=4）】

- 回答属性
  - （n=2）実際に製品を使用・容器保管回収の対応（清掃・納品受入ご担当）
  - （n=1）実証実験参加について検討および購入等の調整（サステナビリティ・経理・総務ご担当）
  - (n=1)メーカー
- 回答内容
  - Loop Professional 全般
    - 実証実験参加理由
      - 環境によい取り組みのため
      - リユースの仕組みに興味があったから
    - 実証実験における商品購入・回収方法
      - わかりやすかった
    - 容器返却保証のために設定しているデポジットの必要有無
      - 不要
        - 管理／請求の手間。単にいらないというわけではなく別の方法で価格に反映できればよい
        - 無い方が運用はし易いです。
    - リユース容器に切り替えたことによるコストはありますか。（メーカー）
      - 増えた
        - 実証実験に関わる商品準備や社内調整に対するコストについて
    - 価格について（ユーザー）
      - 容器回収の手間と理解はしているが、方策により解決できる可能性もあるのではないかと感じている

        - 追加となるコストについての理解が必要。購入する際、環境によい取り組みのための経費として捉えている。また、廃棄費用がなくなった分とも考えられる。ただし、継続的な使用を考える場合、リユース容器にしたことで温暖化ガスの排出が抑えられるなど参加するユーザーも目に見える形でメリットがわかるとよりよい。
- 製品（容量・使い勝手）
    - 製品内容量
        - ちょうどよい
            - 使用期間：１容器７日～１０日
    - 製品の使いやすさ
        - 使いやすい
            - 継ぎ手から漏れるところはあったが希釈はしやすかった
            - キャップがコック付きと取り換えられるので、容器が重くても移し替えが容易に出来た。
- リユース容器
    - 使い捨て容器と比べて劣っている・優れていると感じた点
        - 気になる点なし
        - 優れている点
            - 捨てる手間が無い
    - 使用済み容器の保管についてお伺いします。使い捨て容器とは異なり、回収まで保管いただくことはいかがでしたか。
        - 将来すべてリユース容器になるとスペースが足りない
        - 特に問題ない
    - 使い捨て容器からリユース容器に変わったことで、作業が増えたり手間と感じたことはありますか。（n=2）
        - はい
            - 納品・返却の対応
        - いいえ
    - プラスチックが削減された実感はありますか。（n=2）
        - はい
        - いいえ
            - 今まで一斗缶で納品してたから
- 今後に向けて（容器）
    - あるとよい容量
        - 5L
        - 15L/20L
            - ポリタンクになったことで容器が軽く、またコックがあることで容器の取り扱いがしやすくなり 20L くらいまでであれば重さも気にならない。購入頻度を考えると、容量が多いほうがよい。

- 希望する容器の機能
  - もう少しノズルから出る量が多いと移し替えが早くなる
- 今後に向けて（運用方法・システム）
  - 容器回収方法の懸念
    - （回収時立会いなしを想定して）数量等の双方合意確認方法
    - 誤って廃棄する恐れがありそう
  - 受発注の仕組みであるとよいと思うものはありますか。
    - オンラインプラットフォーム（発注や回収等のリクエスト・管理）
      - 将来毎月の発注ボリュームが増えると、発注頻度も週 1 回など増えていくと思う。実証実験期間中のようにメールでの都度やり取りは気軽さに欠け、双方の利便性も考え、通常の宅配便と同じような対応でできるとよい。
  - デポジットに代わるリユースプラットフォーム運用方法でよいと思うものはありますか。
    - メンバーシップ制：リユースプラットフォーム特有の費用（製品代に含まれる洗浄費や Loop サービス費用など）が製品毎にかからない代わりに、月額のメンバーシップ金額を設定
      - 恒久的なサービスにするためにも、最低限の運用費用を確保できるスキームがあったほうがいいのではないか。
    - ペナルティ制：一定期間返却がない容器に対して請求
      - 毎月の使用量が増えた際に、同様の請求書でのやり取りは手間。また、デポジットの本来の会計処理が、金額が大きくなるほどしっかりした手続きが必要になり、経理処理が煩雑になることを踏まえるとペナルティ制が一番簡易。
  - リユース容器に切り替えていく際の課題は何ですか。（メーカー）
    - ①ラストワンマイルの納品/回収
    - ②環境負荷低減の定量的なデータをどのようにエンドユーザーに伝えるか
  - 配送・回収について一括で管理する先があるほうがよいですか。（メーカー）
    - はい
      - 弊社は既にボトル回収・洗浄・リユーススキームがありますので、上記のような管理先があれば今のビジネスの延長上ででき、コスト増がさけられる可能性が高い。
- Loop Professional に対するコメント
  - 継続して利用していきたいか（n=4）
    - はい（n=3）
    - いいえ
      - デポジットのやり取りの処理が二度手間
  - Loop Professional に期待すること
    - 価格面のハードルが低くなればより活発になるかと思います

- 薬剤の種類拡大や質の向上
- もっと手軽に付き合えたらいいと思う
- 弊社も企業の成長（売上伸長）というのはもちろん必要ですが、それだけでは企業の存在意義を見出しづらくなってきている時代になってきています。貴社と取り組むことによって社会貢献にも繋がる仕事が増え、社員が新たな『やりがい』を感じられることを期待しております。

5. 考察

計 3 回の納品と回収を完了後、3 社 4 名に対してアンケートを実施。本実証実験に関して確認できた点と、課題は以下のとおり。

- 確認できた点

- Loop professional の実現性と意義

実際に使用したユーザーからは、プラスチック削減を実感することができた、捨てる手間がなかったなど、前向きな意見が確認できた。
リユース容器を使用することで今までシングルユースプラスチックを使用していたユーザーからは実際にプラスチック削減を実感することができたという意見や、リユース容器だから捨てる手間がなかった、というメリットを感じる意見があり、Loop Professional のサービスを広げていくことの意義を感じられた。

- リユース容器に対するイメージ

バックヤードで使用する製品ということ、今回は納品サイクルが 3 回にて洗浄 1 回のみで新品容器とほぼ変わらない状態であったこともあり、外観のキズなどは特に気になるという声は聞かれなかった。また、洗浄性に対しても特に懸念事項はあがらなかった。
使用頻度が増え、リユース回数が複数回の容器が納品されるタイミングで再度確認していきたい。

- デポジット運用

- 課題

デポジットは、容器返却を確実なものとするために設定をし、容器数の管理することを目的としていたが、不要であるという意見となった。デポジットの必要性は理解できるものの、毎月の経理処理で対応が必要になる点はユーザー・メーカー・Loop すべてのステークホルダーにおいて作業負担になることが大きな理由である。容器管理についても購入数や購入者がわかっている状態で、一般消費者向けと同じようなデポジットの仕組みは必要なのかという提起もあった。

- 今後検討事項

今回は実証実験のため連絡が密に取れていたこと、循環している容器の総数量が少ないことから、デポジットの必要性を感じにくかったとも考えられ、今後利用数が増加しプラットフォー

ム自体が拡大した際にはすべてのユーザーが容器を 100%返却するかは懸念が残る。
デポジットに代わるリユースプラットフォーム運用方法について意見を聞いた。案として提示したのは、下記３案。

- メンバーシップ制：リユースプラットフォーム特有の費用（製品代に含まれる洗浄費や Loop サービス費用など）が製品毎にかからない代わりに、月額のメンバーシップ金額を設定
- 保証金（事前デポジット）：容器個数に応じてデポジット金額をお預かりし、リユースを終了する際にお返し
- ペナルティ制：一定期間返却がない容器に対して請求

経理処理の観点からは、ペナルティ制度が一番わかりやすそうという意見があった。保証金制度は、瓶回収で以前から使用されている制度であるため、導入しやすいのではないかと思う。
Loop Professional を継続的なビジネスモデルにしていくためには、メンバーシップ制も検討する余地があると考える。リユース容器の運用において発生する回収・洗浄に関わる費用も物量によって変動し、容器ごとにコスト計算をすると割高に感じられることもあり、一定の数量に達するまでは定額制としてリユースプラットフォーム運用のサポートという観点も含めて設定すれば理解を得られるのではないか。同時にメーカーが商品価格計算をする際にも、リユースに関わる費用を考慮しなくて済み通常品と比べての割高感も軽減できるのではないかと考える。

- 製品価格

- 課題

製品価格は、製品の品質など様々な要素があり現状使用していたシングルユース容器使用の製品との単純比較は難しいものの、割高な印象をユーザーは受けている。日々消費し継続的に使用するものであるからこそコストについては厳しくならざるを得ず、単純に環境によいからという理由だけでは、通常品から切り替えの判断は難しいという意見である。今後サービスを拡大していくためには検討していく必要がある要素となりそうだ。

- 今後検討事項

温暖化ガス排出量など誰もがわかる環境貢献指数が示されると通常品とのコスト差が付加価値として捉えられ、一定のユーザー数の確保にもつながるのではないかという意見も聞かれた。
シングルユース容器と比較してリユース容器を導入することのメリットの積極的な提示を実施していきたい。

3. Loop Professional の取組みの拡大に向け

- 検証が必要な点

納品・回収についてはさらに検証を進めていく必要がある。
今回、実証実験期間は 6 カ月確保を目標としていたが、運用の詰めや実商品の準備などで調整に時間を要し、十分に検証するための期間が足りなかったこと、直接メーカー営業の方が納品・回収の対応をしたため、この部分の課題抽出ができていない。
検討したい事項として、下記があげられる。

- ボトル交換の際、ユーザーの立会いが必要なのか
- 運送業者が使用済み容器を回収するのはどれくらい手間なのか
- 事前に回収する数はわかったほうがいいのか
- 容器回収後、どのタイミングで容器返却とみなすか

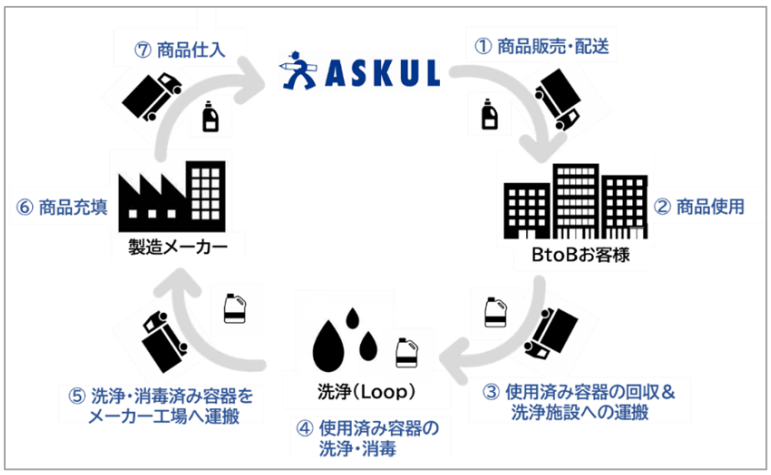
運送業者による使用済み容器の回収は、アスクルモデル実証実験にて実施をしているためそこでの課題抽出ができればと思う。
継続使用を想定した際に、誤って容器を捨ててしまいそう、立会いしなかった際に回収容器数の確認方法は懸念としてあがった。
将来的には、商品購入・返却容器管理を一括で対応できるオンラインシステムを整えることが理想である。

Loop Professional のサービス拡大には、利用するユーザーを増やし、スケールアップをしていくことが必要である。今後は、利便性の観点からもアスクルとのプラットフォーム整備をメインに進めていくことを考えている。
また、バックヤードで使用する洗剤類のラインアップを増やすことと併せて、ミネラルウォーター瓶などオフィス等で提供されているペットボトル飲料をリユース瓶に切り替えるための提案も進めていく。飲料は、消費サイクルが早いこと、一定の需要が見込まれることからスケールアップへの貢献が期待される。ただし、P 箱での物流網整備など課題も同時にあがってきているため、引き続き各ステークホルダーとの調整を実施していく。

Appendix

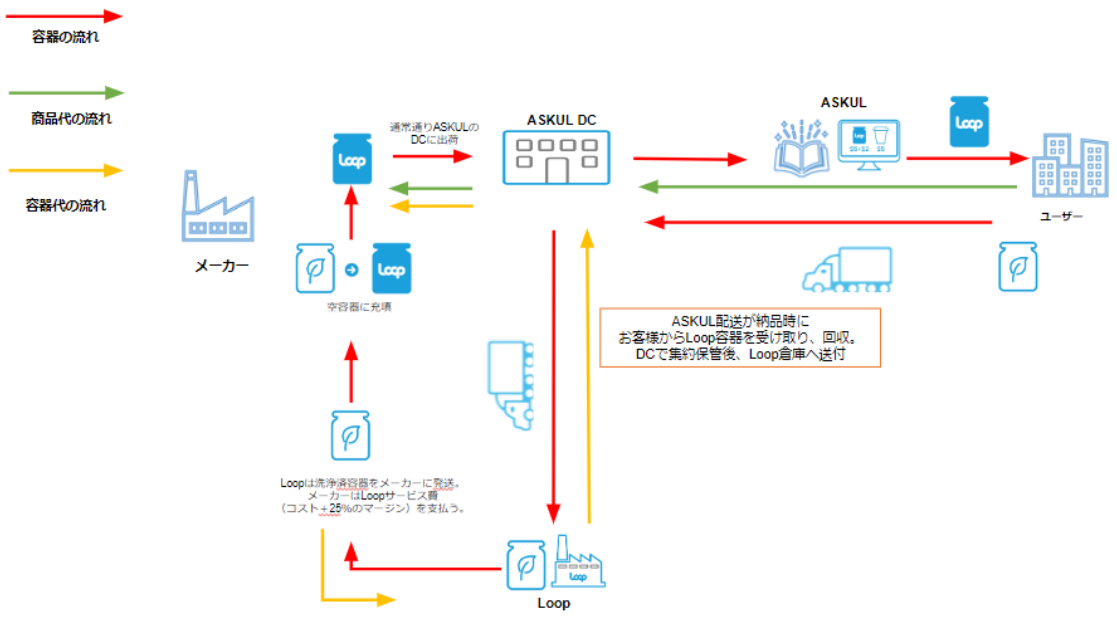
1. アスクルとの取り組み

ユーザーにより使いやすく、また商品ラインナップが増えた際にも一括で購入ができるプラットフォームの構築に向け、アスクルとの協業も進めている。
同社との取り組みは今回のプロジェクト期間外からの開始となったが、下記に概要を記載する。



- Loop Professional for ASKUL 小規模パイロット実証実験 概要
  - 目的
    - アスクル購買システムで Loop 商品を購買、使用、使用済み容器をリユース（再利用）の活動に協力することで、ごみの排出量、廃棄コストを削減する。
  - 実証実験実施期間
    - 2023 年 3 月～ 3 か 月 以上を想定
  - 対象商品　※直接モデルと同様、CxS 社製品
    - ①対物用アルコール除菌剤（手指消毒アルコールとして使用も可）
    - ②殺菌・消毒用手洗い石鹸 3 タイプから選択）
  - 商品価格：実証実験期間の特別価格 （別途）
  - 対象想定エリア：東京都、神奈川県、千葉県等の首都圏から開始、順次拡大予定
  - 容器回収方法
    - アスクルの荷物配達の際に、ドライバーに空の容器を渡す
    - 空の容器は、1 個から回収
- デポジット・容器回収の流れ
  - 実証実験期間中はアスクルとエンドユーザー間はデポジットの取引なし
  - アスクルは、メーカーまたは卸から容器を含む充填済み製品を購入（商品代＋容器代）
  - エンドユーザーがアスクルで Loop Professional 商品を購入
    - 商品代のみ
    - EC サイト（ソロエルアリーナ）にて受発注

- Loop DC が返却容器を確認し、その後 Loop 洗浄施設に送り、洗浄。
- Loop はチェックイン数を元に、メーカー・アスクルそれぞれへ容器代の支払い・請求を実施（月次報告）



- 今後の予定
  - 先行して２月よりアウトドア製品を取り扱う店舗にて展開を開始した。今後もオフィスビル、カフェ店舗など幅広い業態へユーザーとしての参加を呼びかけ、Loop Professional のサービス拡充を目指す。また多くのユーザーが参加することで、パイロット実施内容についてのフィードバックを得、今後 Loop Professional を実装に向けての知見をためていきたい。

2. （参考）オンラインサーベイ内容

大項目	質問項目	回答
基本情報	会社名	フリー
	担当	・実際に製品を使用・容器保管回収の対応（清掃・納品受入ご担当） ・実証実験参加について検討および購入等の調整（サステナビリティ・経理・総務ご担当） ・メーカー
ユーザー（実際に製品を使用・容器保管回収の対応（清掃・納品受入ご担当））		

使用期間	容器が返却され、洗浄、再利用される取り組みであることをご存じでしたか	はい・いいえ
	製品納品後、次の回収タイミングまでに使い切ることができましたか。	はい・いいえ
	- （はいの場合）平均で何日間で使い切りましたか。	フリー
	- （いいえの場合）どのくらい使い切れずに残りましたか。（回収時に余っていた分量）	フリー
納品商品	製品内容量はいかがでしたか。（原液のまま使用する製品）	・半量でよい ・ちょうどよい ・倍の量がよい ・詰め替え不要な使い切りサイズがよい
	希釈タイプの製品についてお伺いします。希釈用ボトルの使い勝手や製品の内容量はいかがでしたか。	・特に問題ない ・希釈用ボトルが使いやすい ・希釈は手間 ・希釈タイプとしては内容量が多い ・希釈タイプとしては内容量が少ない ・その他
	製品は使いやすかったですか	はい・いいえ
	上記理由	フリー
	使い捨て容器と比べて劣る点	フリー
	使い捨て容器と比べて優れている点	フリー
	３回目の納品容器は洗浄し、再利用した容器に充填した製品です。使い捨て容器と比べ気になった点はありますか。	はい・いいえ
	- （はいの場合）気になった点は何ですか	フリー
	安全性に問題はありませんでしたか	はい・いいえ
	- （はいの場合）安全性で気になって点を教えてください。	フリー
リユース容器	使用済み容器の保管についてお伺いします。使い捨て容器とは異なり、回収	・特に問題ない ・保管場所に困った

	まで保管いただくことはいかがでしたか。	・将来すべてリユース容器になるとスペースが足りない
	使い捨て容器からリユース容器に変わったことで、作業が増えたり手間と感じたことはありますか。	はい・いいえ
	- （はいの場合）どんな点が手間と感じましたか。	フリー
	プラスチックが削減された実感はありますか。	はい・いいえ・わからない
	- （いいえの場合）プラスチック削減が実感しにくかった理由は何ですか。	フリー
今後に向け	今後あるとよいと思う容量（容器サイズ）はどれですか。（複数回答可）	1L 以下・1L・2L・5L・15L・20L
	あったらよいと思う容器の機能はありますか	フリー
	実際に使用しているもので切り替えられるものはありますか	はい・いいえ
	- （はいの場合）切り替えられるものを具体的に教えてください。	フリー
	現在使用していないもので、リユース容器になるとよいものはありますか	フリー
ユーザー（実証実験参加について検討および購入等の調整（サステナビリティ・経理・総務ご担当））		
全般	LoopProfessional の実証実験にご参加いただけた理由	・環境に良い取り組みだから ・自社の SDG 方針にマッチするから ・リユースの仕組みに興味があったから ・その他
	実証実験における、商品購入・回収の運用はどうでしたか	わかりにくかった・わかりやすかった
	環境に対する取り組みを実施することに伴い、価格が高くなることに対してどう思いますか	理解できる・理解できない・その他
	容器返却保証のためにデポジットを設定しています。デポジットに対してどう思いますか。	デポジットはあってもいい・いらない

	- 上記回答理由	フリー
	使い捨て容器からリユース容器に変わったことで、作業が増えたり手間と感じたことはありますか。	はい・いいえ
	- （はいの場合）どんな点が手間と感じましたか。	フリー
	実証実験を通して、改善してほしいと思ったことは何ですか	フリー
今後に向け	バックヤードで使用している物に限らず、リユース容器であるとよいものはありますか	フリー
	LoopPro を使用することを会社として PR に活用できると思いますか	はい・いいえ
	- （いいえの場合）なぜ活用できないと思いますか。	フリー
	発注の仕組みであるとよいと思うものはありますか	・オンラインプラットフォーム（発注や回収等のリクエスト・管理） ・発注シート（メール送付） ・その他
	リユースプラットフォームにおいて、デポジット制以外であるとよいと思うものはありますか。	・メンバーシップ制：リユースプラットフォーム特有の費用（製品代に含まれる洗浄費や Loop サービス費用など）が製品毎にかからない代わりに、月額のメンバーシップ金額を設定 ・保証金（事前デポジット）：容器個数に応じてデポジット金額をお預かりし、リユースを終了する際にお返し ・ペナルティ制：一定期間返却がない容器に対して請求 ・その他
ユーザー共通		
参考	通常の商品発注・納品受入対応についてお伺いします	商品発注・荷受対応・関わっていない
	- （商品発注の場合）商品発注のタイミングと数量について教えてください。	・決まったタイミングで発注 ・現場に都度確認 ・その他

	- （荷受対応の場合）荷受対応はどのようにされていますか	・立会いをしている ・配送窓口に一括で届いたものを取りに行く ・社内便がある ・その他
	容器回収における懸念点はありますか	フリー
メーカー		
全般	LoopProfessional の実証実験にご参加いただけた理由	・環境に良い取り組みだから ・自社の SDG 方針にマッチするから ・リユースの仕組みに興味があったから ・その他
	実証実験における、商品購入・回収の運用はどうでしたか	わかりにくかった・わかりやすかった
	リユース容器に切り替えたことによるコストはありますか。	増えた・減った・その他
	容器返却保証のためにデポジットを設定しています。デポジットに対してどう思いますか。	デポジットはあってもいい・いらない
	- 上記回答理由	フリー
	使い捨て容器からリユース容器に変わったことで、作業が増えたり手間と感じたことはありますか。	はい・いいえ
	- （はいの場合）どんな点が手間と感じましたか。	フリー
	実証実験を通して、改善してほしいと思ったことは何ですか	フリー
	リユース容器の回収に関わる物流、容器の洗浄で課題と考えている点を教えてください。	フリー
今後に向け	リユース容器に切り替えていく際の課題は何ですか	フリー
	配送・回収について一括で管理する先があるほうがよい	はい・いいえ
	- 上記回答理由	フリー

	LoopPro に参加していることを会社として PR に活用できると思いますか	はい・いいえ
	- （いいえの場合）なぜ活用できないと思いますか。	フリー
	受注の仕組みであるとよいと思うものはありますか	・オンラインプラットフォーム（発注や回収等のリクエスト・管理） ・発注シート（メール送付） ・その他
	リユースプラットフォームにおいて、デポジット制以外であるとよいと思うものはありますか。	・メンバーシップ制：リユースプラットフォーム特有の費用（製品代に含まれる洗浄費や Loop サービス費用など）が製品毎にかからない代わりに、月額のメンバーシップ金額を設定 ・保証金（事前デポジット）：容器個数に応じてデポジット金額をお預かりし、リユースを終了する際にお返し ・ペナルティ制：一定期間返却がない容器に対して請求 ・その他
全社共通		
まとめ	LoopProfessional を今後も継続して利用していきたいですか	はい・いいえ
	- （いいえの場合）継続して参加しない理由を教えてください。	フリー
	LoopProfressional に期待することは何ですか	フリー